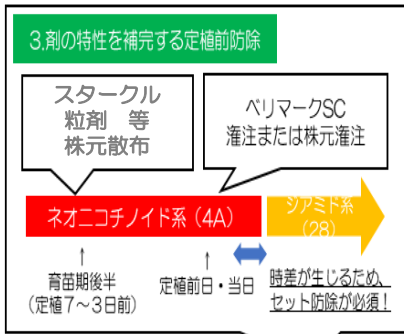
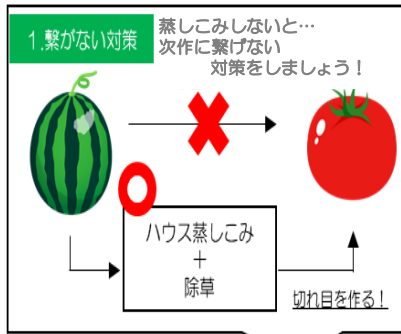


コナジラミ類防除のポイントについて

○育苗ハウス

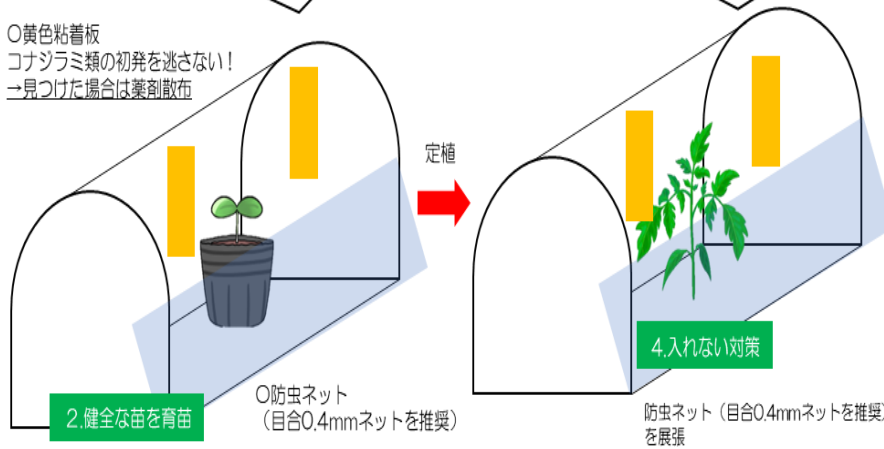


○本圃ハウス



タバココナジラミ
(翅が半開き)

○黄色粘着板
コナジラミ類の初発を逃さない!
→見つけた場合は薬剤散布



オンシツコナジラミ
(翅が閉じている)

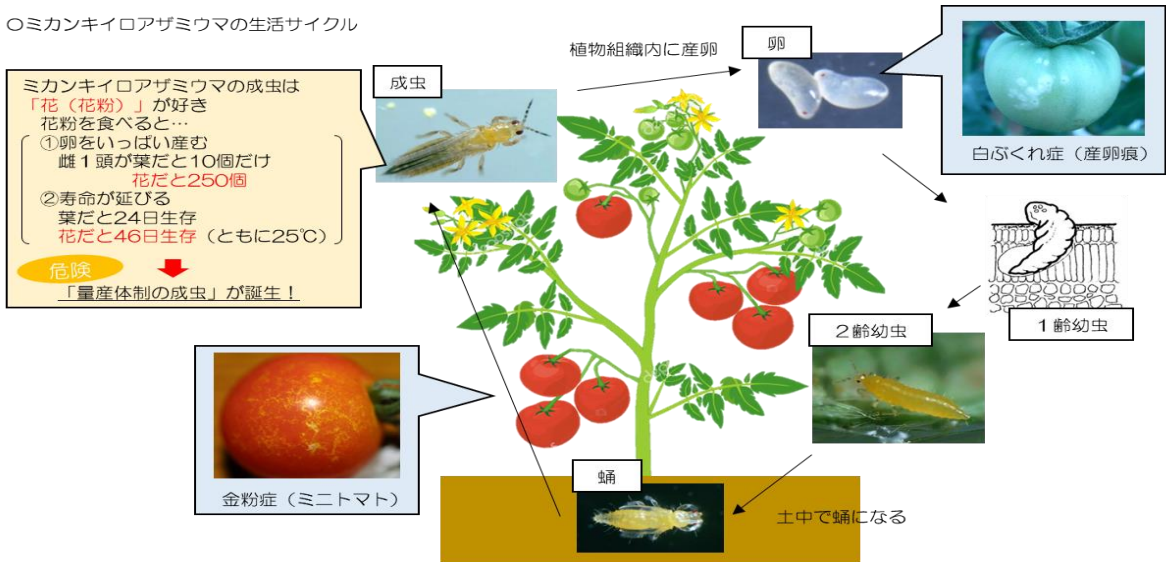
コナジラミ類防除は定植前後の対策が重要

- 1 繋がらない対策
前作終了後、本圃ハウスから残さ・雑草等を除去し、虫が隠れる場所や餌を残さない。
ハウスの蒸しこみによる「高温」「乾燥」が殺虫効果を高める。
- 2 健全な苗を育苗
育苗ハウスは特に害虫の侵入に注意する。定植の段階で黄化葉巻病が発症している場合は、後からの散布剤での挽回は厳しい。
- 3 剤の特性を補完する定植前の防除
育苗期のネオニコチノイド系粒剤&定植直前~当日のベリマークSCを施用。
- 4 入れない対策
防虫ネット(目合0.4mmネット推奨)を展張し、虫をハウスに入れない。
- 5 感染源の除去
ウイルス病罹病株を撤去する(少量に留めるためにも、最初が肝心)

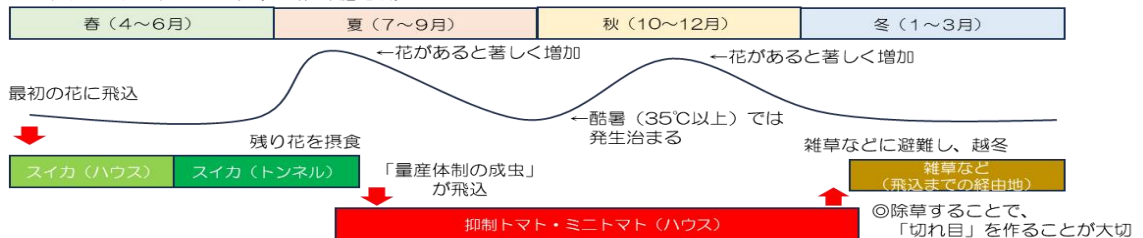
○初期のコナジラミ類の密度を抑えるため、7日おきに薬剤防除を行いましょう!

アザミウマ類防除のポイントについて

○ミカンキイロアザミウマの生活サイクル



○ミカンキイロアザミウマの一年（山武、印旛地域）



アザミウマ類防除は生育初期の対策が重要

- 1 圃場内外の除草
成虫の越冬場所（飛び込みまでの経由地）を除去。
◎花（花粉）を食べたミカンキイロアザミウマ（量産体制）を迎え入れることの怖さ！
- 2 飛び込んでくる成虫への対処（物理的防除）
防虫ネットは目合1mmでも効果あり。赤色だと更に良し。
- 3 圃場内で増やさない（殺虫剤の有効な使用方法）
◎「アザミウマ類」に登録があっても、「ミカンキイロアザミウマ」には効いていない可能性も！
- 4 栽培終了時の施設密閉処理（蒸しこみ）
栽培終了後、ハウスを締め切り、アザミウマ類を死滅させる。

○初期のアザミウマ類の密度を抑えるため、7日おきに薬剤防除を行いましょう！

